

株式会社 佐々木鉄工所

## 1. 創業83年

横浜三溪園。これは関東でも3本の指に入る名園です。海に面した素晴らしい公園でありましたが、その時の市長がこの海を埋め立て、巨大石油基地と大手企業を誘致したのです。高度経済成長の始まった昭和30年代後半です。誰も反対しなかったのでしょうか。時代の勢いというものでしょうか。その中に中小企業団地を取って付けたように、世間の風当たりを防ぐように配置したのであります。恥ずかしながら私どもの工場はこの中にあります。昭和45年(1970年)10月、大阪万博の年に移転してきました。40年になります。創業が昭和3年ですから83年。長くやっているだけが取り柄みたいな、小さな企業です。

しかし長く続けることはこれ又難しい。大関魁皇のように無事こそ名馬でありたいものです。

## 2. なんでも製作します

受注生産工場と言うと聞こえはいいが、大手企業から図面が出てそれを製作するのです。下請け企業であります。従業員は30人くらいです。

図面をバラし、材料を手配し、製缶・溶接し、NC機械で加工、組立、塗装をして検査までする…そんな工場です。主要得意先は三菱重工業、IHI、住友重機械マリンエンジニアリング、日本石油など大手が中心です。ダム・河川の水門、原子力、高速道路の免振装置、どちらかという厚い大きな鉄やステンレス製品が得意です。横浜ベイブリッジやアクアラインを渡ると、我社の製品が沢山付いています。製作物は残りますから、これが魅力ですね。社員皆でバスに乗って、我社で造った完成品を見に行くのは気持

ちの良いものです。皆も良い顔していますよ、そんな時は。

## 3. 若返りました

「若い社員が多いですね」と言われます。20代、30代が中心ですから平均年齢も35歳くらいでしょう。箱根駅伝と同じで機関車みたいに引っ張る選手、山登りのスペシャリスト、補佐が出来るまあまあの選手、少し弱いが一生懸命努力する選手、皆を元気づけるキャラクターのある選手。工場も同じです。皆良い子では上手いきません。勢いが無くなるからです。先頭に引張られて全体のレベルが上がる時、これが工場では利益となり、駅伝では優勝ということになるんです。なでしこジャパンのように。

製造業で働く者は根が真面目である事、これがないと駄目ですね。真面目で物を作るのが好きでないと続きません。最近の若い生徒は皆良い子で、手を焼かせたりする子が少なくなりました。ちょっとつまらない…。大変な仕事が入った時、チャレンジ出来るのはそんなバイタリティのある子供なんですね。要領の良い口先の上手い子は、物作りはやめた方がいいと思いますよ。

## 4. 楽しく生きたい

福利厚生には力を入れます。大企業には大企業のデラックスな厚生施設がありましょう。これには敵いませんから、小企業らしい福利厚生を心掛けてきました。楽しくないといけません。人生なんて過ぎてみるとあっという間です。これまで何をやってたのかと愕然としますよ。

そんなわけで、社員研修旅行はこの数年海外が多かったですね。香港マカオ、台湾、ハワイ、

ソウル，大連。外から日本を見るのが社員の為になると思いますね。

それと芦ノ湖に保養所があります。富士山や駿河湾，伊豆の山々が見える。私は気に入っています。イタリア製の玉突き台が付いており，四部屋あります。しかし社員の家族には，上げ膳据え膳の旅館の方が奥様は喜ぶのかもしれませんがね。子供が小さい社員は良く利用しています。お金がかかりませんから。その他にも色々工夫して，昼休みのバレーボールや社内バーベキュー，海の見える食堂など，福利厚生をやっています。

## 5. 海外研修生の受け入れ

25年前から中国研修生の受け入れをしてきました。主に中国東北からです。20代，30代の若者が働いています。現在5名の実習生（3年内）が溶接やら仕上，組立をこなしています。お金を貯めて，帰国して，独立したい。休日でも夜でも仕事をやらせて欲しいとせがまれます。

既に60名からの研修生が帰国しましたが，中には1万坪の工場を旅順の港の近くに完成させ，船体を作る工場を開いた人がいます。又，不動産の管理会社を30名の社員を使って成功している青年もいます。中古のトラックを買い，運送会社を経営している男もいます。帰国して成功しているのを見ると嬉しいですね。彼等のバイタリティには驚かされます。

中国人もアメリカ人も日本人も同じです。良くできる者，中くらいの者，ちょっと弱者，3人居ればこんな風になりますね。アリの世界も金魚の世界も同じです。これからはアジアの国々と益々距離が近くなります。国際化はこんな小さな工場にも迫っているのです。

そんな訳で毎週中国語教室が開かれています。若い人は覚えが早いですね。您好，谢谢と工場内でも声がかかります。

## 6. ものづくりに自信を！

大国と呼ばれる国民は大雑把ですね。きっち

りしたものを作らせると日本人の右に出る国民は居ないと思います。ロシアのサハリンで見た電気配線工事の雑な事に驚きましたし，中国人の作業は早いけれど雑も雑です。アメリカ人は不器用だから，簡単に作業が出来る道具を考えだすのでしょうか。日本人の“良い物を作る”この国民性を大事にすべきです。資源の無い我国，国の土台は製造業です。「一国の繁栄はその国の優れた生産力にかかっている」，20年前マサチューセッツ工科大学の出したレポートです。これを失った時，国は衰退の速度を早めることになります。サービス業では，1億人の人口が有る我国は生きていけません。ものづくりに自信を持つこと，持たせること，これが大事ではないでしょうか。

〒231-0813 神奈川県横浜市中区かもめ町28番地  
TEL045-623-7267 <http://business4.or.jp/s-iw/>



工場風景



作業中の社員